

<校長講話>

やさしく温かい人間関係は 相手を思いやる挨拶や言葉がけ から

子どもたちや職員に いつも「やさしさのあふれる学校」について様々な角度から語りかけてくれる校長先生。

今回は、校長講話を3回分まとめてお伝えします。



①豊かな四季の中で育まれてきた私たちには 「美しい日本の心」が育ってきている ~2学期終業式の講話~

目をつぶって、春の景色を想像してください。花が咲いているかな？花は、桜の花かな？・・・次は、頭を切り換えて、夏を想像してください。浮かんでいるのは、入道雲かな？ひまわりの花かな？・・・次は、秋です。紅葉の景色が浮かんでいるかな？・・・最後は冬です。冬の景色はやっぱり雪でしょうか？

はい、目を開けてください。春夏秋冬、日本は四季がはっきりしていますね。虫の声、花々・・・日本人は、豊かな四季の中で何千年も生まれ、引き継がれています。日本人の心が皆さんにも確かに引き継がれているのです。桜の花がついに満開・・・風でぱっと散って、気がついたら緑の葉になっている。「満開は楽しい、散ったら悲しい」そうになったら日本人の心が生まれているということなんです。秋の虫の声を想像してください。夜中、ずっと鳴いています。窓を開けたらどうするかな。「うるさい雑音」に聞こえてすぐに窓を閉めますか？それとも、「秋だなあ」と思って聴き入ってしまうかな。・・・どちらでしょう。聴き入ってしまう人は、日本人の心を感じているんです。お月見で、月がはっきり見るとうれしそうと思う人は、日本人の心が生まれている人です。

このように、日本人の心は、世界の中でも独特なものと言われています。日本人の心が生まれている、と感じた人は、四季の行事も楽しんでいってくださいね。

②日本人の美しい心のあいさつ ~3学期の始業式の講話~

日本人の美しい心のあいさつについてお話します。海外の学校の先生方35人が日本各地の学校を4日間視察したそうです。最終日に、日本の学校の感想を発表してくれたそうです。「日本の小学校を訪問して、玄関で靴を履き替える姿には、気持ちが引き締められました。校舎内がとてもきれいでした。子どもが掃除をしていましたが、心も磨かれていると感じました。あいさつは、相手の顔を見て笑顔で丁寧に頭を下げてしてくれました。歓迎の気持ちが伝わってうれしかったです。給食のとき、順番を守っている姿や入退場の行進、授業のはじめと終わりの礼・・・ひとつひとつがとても素晴らしいと思いました。

私たちが、「当たり前」と思っていることを「すごい」と海外の学校の先生方が感じて発表してくれました。柔道、剣道、お茶、お花など、はじめと終わりの礼を大切にしています。相撲も、負けて土俵の下に落ちて、また土俵に上がって礼をしますね。「よろしく」「ありがとう」の気持ちの表れですね。

校長先生からのお願いです。3学期は、みんなで「日本人の美しい心のあいさつ」を意識して実行してほしいと思います。せっかく皆さんが持っている心なので、ぜひ行動に移しましょう。これは、全校で取り組みましょう。このことは、1学期にもお願いしたのですが、なかなか実行できない人もいたようです。この3学期にできるようにみんなで取り組みましょう。

③「どうぞ」「ありがとう」で温かい中佐都小に ~2月1日の校長講話~

「礼」のことを始業式にお話しましたが、その後、気持ちを込めて「お願いします」などと言っていますか？これから、列の端の人にプリントを1枚渡しますから、横の人にいつもしているようにプリントを回してください。(プリントが列ごとに手渡しされる)・・・わずかでしたが、プリントを渡すとき、「どうぞ」「ありがとう」の音が聞こえました。

さて、次は、渡すとき、「どうぞ」、受け取るときは「ありがとう」を必ず言う約束にしてもう一回やってみましょう。声に出すのが難しい人は、心で思ってくださいね。(プリントが列ごとに手渡しされる)・・・どうでしょう、どんな気持ちになりましたか？発表できる人いますか。・・・「2回目の方が気持ちよかったです。」(3年女子)「ちょっとうれしい気持ちになりました。」(6年男子)・・・そうですね。みんな今発表してくれた人と同じ気持ちになったと思います。次は、笑顔でしてみましょうか。やってみなくても想像できますよね。今日は、心の変わり様を味わってほしくてみなさんに実際にプリントの手渡しをやってもらいました。

「ありがとう」は感謝、「どうぞ」は相手を大切にできる言葉です。たった二つでも自然にできると、やさしくて温かいクラスになると思います。そして、みんなでやると温かい中佐都小になりますね。今度からものを渡すときに、ぜひ実践してください。

学校支援ボランティアの紹介



学習支援ボランティア9名の皆さんです。

昨年度の7月に結成されて以来、ほぼ毎日のように来校され、子どもたちの学習や生活の支援にあたってくださっています。授業支援だけでなく、清掃等の作業、校外学習の付き添い、朝の個別学習等も、引き受けていただいています。

学期に一度「連絡会」を開き、子どもたちの様子について情報交換していますが、子どもたちを見るボランティアさんの温かさと洞察力にはいつも感動させられます。担任一人では充分ではない褒めることを、陰になりがちな子どもたちにこそ寄り添って褒め、励ましてくださっていることに感謝です。

「PTA安全パトロール」の皆様～1年間ありがとうございました～

- ◇集団下校だったので、皆しっかり1列に並んで帰ることができました。班長さんがしっかりしていたので、見ていて安心でした。(4月)
- ◇高学年の児童が「こんにちは。ありがとうございます」としっかりあいさつができていました。横断歩道の渡り方は全体的にしっかりとできていました。上級生が下級生の手を取っている姿も見られました。(5月)
- ◇常田は狭い路が通学路になっているので、パトロールがあると子どもたちも安心できるのではないかと思います。(8月)
- ◇カッテ石を通過する通学路やぶり、ヘルメットを手で持つ児童、歩きながら宿題をやる児童・・・その都度、注意しましたが、学校でも指導をお願いします。(10月)
- ◇車用の防犯パネルができたのは、よく分かるのでいいと思います。(11月)
- ◇全国で起きている登下校中の事故が決して起きないように、大人も交通ルールを守っていかなくてはならないと改めて思いました。幅の狭い歩道、見通しの悪い横断歩道等、早急の改善をお願いしたいと思います。大切な命を守るためぜひ改善を。(12月)
- ◇数人で固まって歩くと、どうしても横に広がってしまう。車通りの少ない農道で、見通しも良いため、あまり危険はないが、広がって歩くことがクセにならないよう、時々、注意・啓発は必要かもしれません。(2月)

1年をとおして、PTAの皆様に分担して安全パトロールをしていただき、毎月、上のような、丁寧な報告書もお届けいただきました。おかげさまで、危険についてご指摘いただいたことはすぐに子どもたちに指導することができました。

危険な要素のある通学路については、区長さんを通して市に要望書を提出しています。

年に1度ではありますが、区長会、警察、市・県の土木課等の担当者と学校が通学路の点検をして、改善点を決めだしています。

「見守り隊」30名の皆様ありがとうございました。

中佐都小CS応援団としてご登録いただいている「見守り隊」の皆様、一年間ありがとうございました。今後とも、無理のない範囲でよろしく願いいたします。

3月の行事予定から ※詳細は学年だよりでご確認ください。

- | | |
|------------------------|--------------------|
| 3月 6日(月)～17日(金) 学年末大掃除 | 19日(日)～4月5日(水) 春休み |
| 7日(火) 渡邊陸雄先生による合唱講習会 | 24日(金) PTA監査 |
| 9日(木) 6年生を送る会 | 30日(木) 新5,6年登校日 |
| 17日(金) 終業式 卒業式準備 | |
| 18日(土) 卒業式 退任式 離任式 | |

放射線測定結果2月21日(火)14:10測定値0.05 μ Sv/h 数値的には問題ありませんでした。